

## 国債市場の流動性指標※

### <長期国債先物市場>

- 図表1：出来高と取引サイズ (volume)
- 図表2：ビッド・アスク・スプレッド (tightness)
- 図表3：板の厚み (depth)
- 図表4：価格インパクト (resiliency)

### <現物国債市場>

- 図表5：ディーラー間取引高 (volume)
- 図表6：投資家等の売買動向 (volume)
- 図表7：対顧客取引のビッド・アスク・スプレッド (tightness)
- 図表8：対顧客取引の提示レート間スプレッド (depth)
- 図表9：残存年限別の提示レート間スプレッド (depth)

### <SCレポ市場>

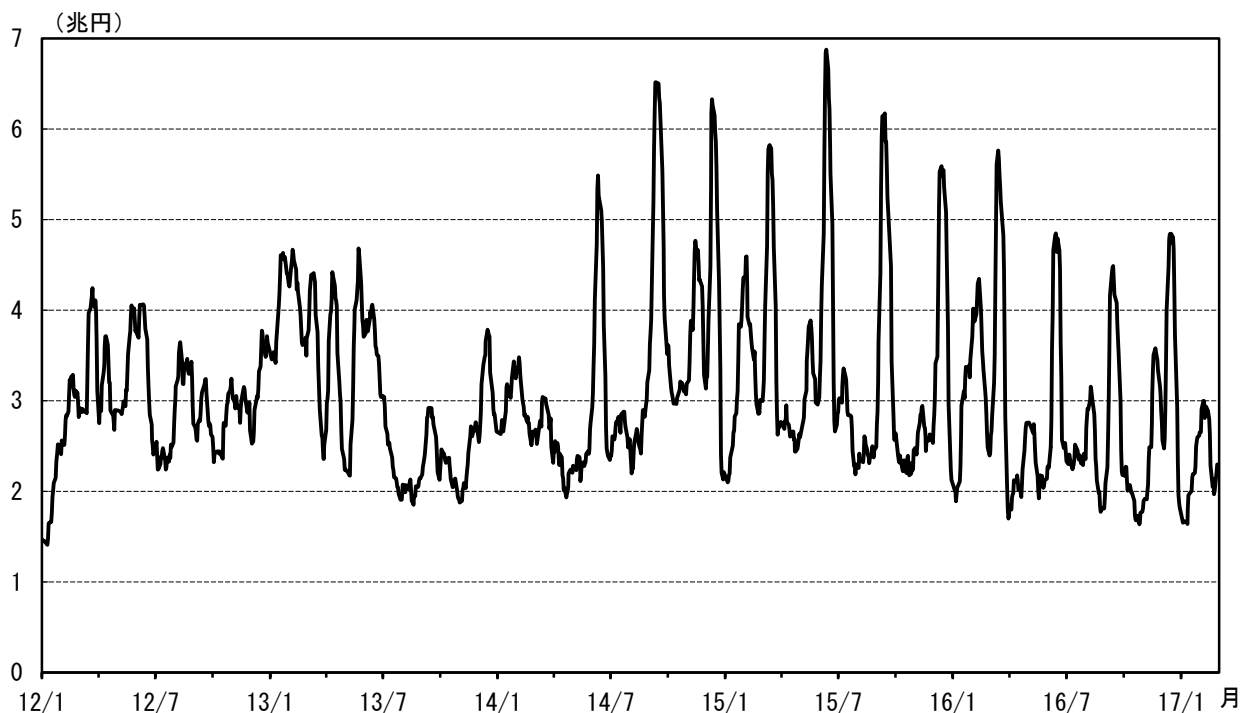
- 図表10：GC-SCスプレッド
- 図表11：SCレポレート

---

※ 各指標の定義等については、黒崎・熊野・岡部・長野「国債市場の流動性：取引データによる検証」日本銀行ワーキングペーパーシリーズ No. 15-J-2、2015年3月を参照。

## 長期国債先物の出来高と取引サイズ (volume)

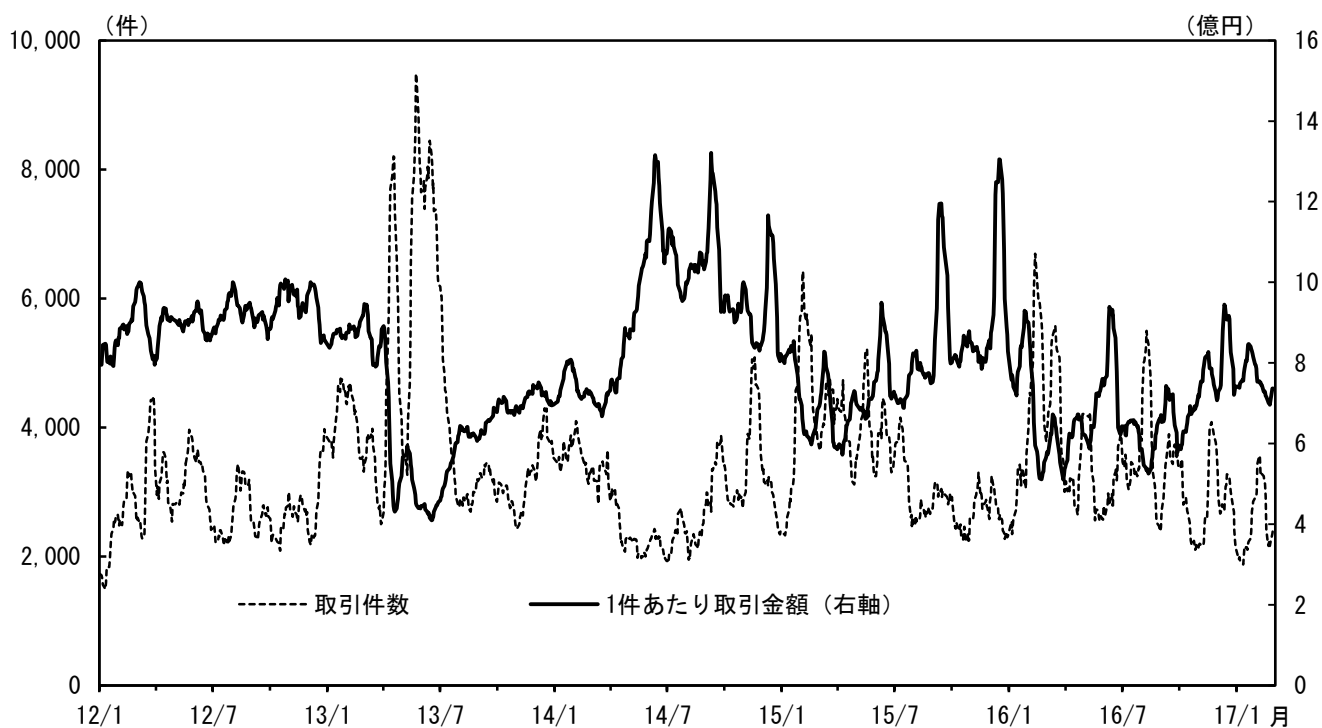
### (1) 長国先物の出来高



(注) 後方10日移動平均。直近は2月末。

(資料) QUICK、大阪取引所

### (2) 取引件数と1件当たり取引サイズ

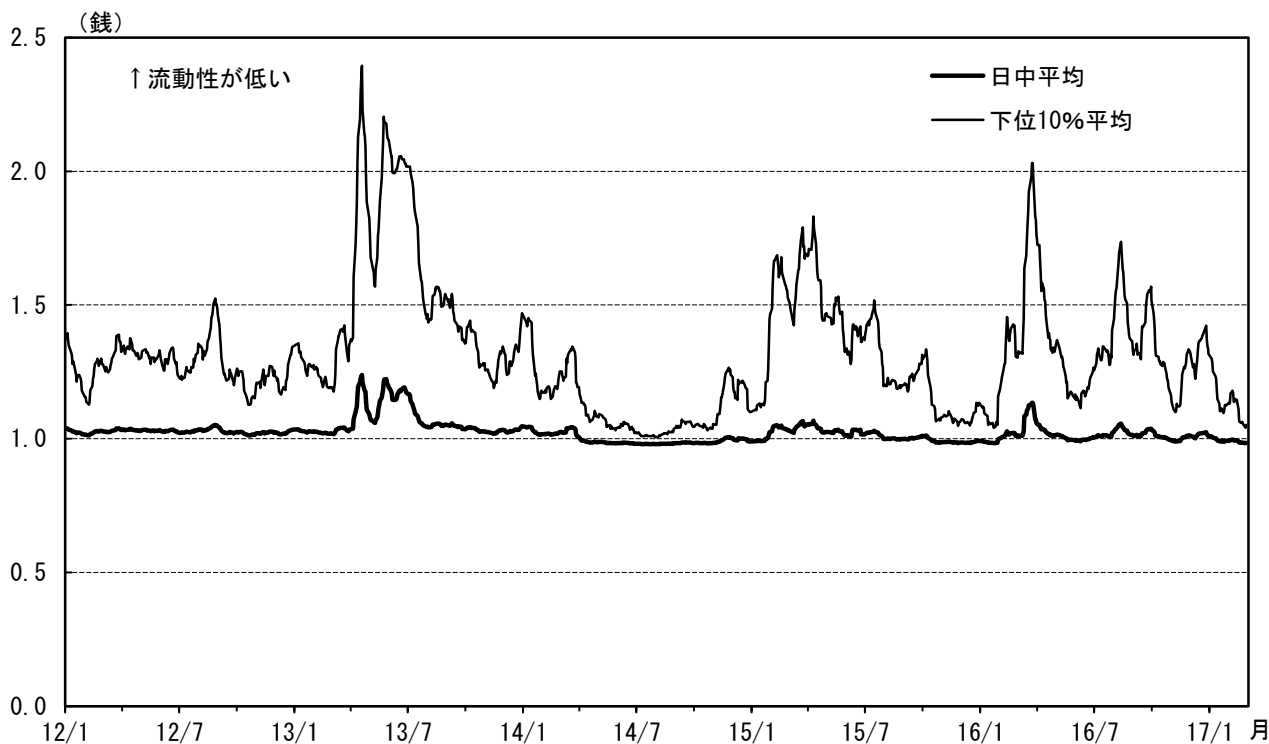


(注) 後方10日移動平均。直近は2月末。

(資料) 日本経済新聞社「NEEDS」

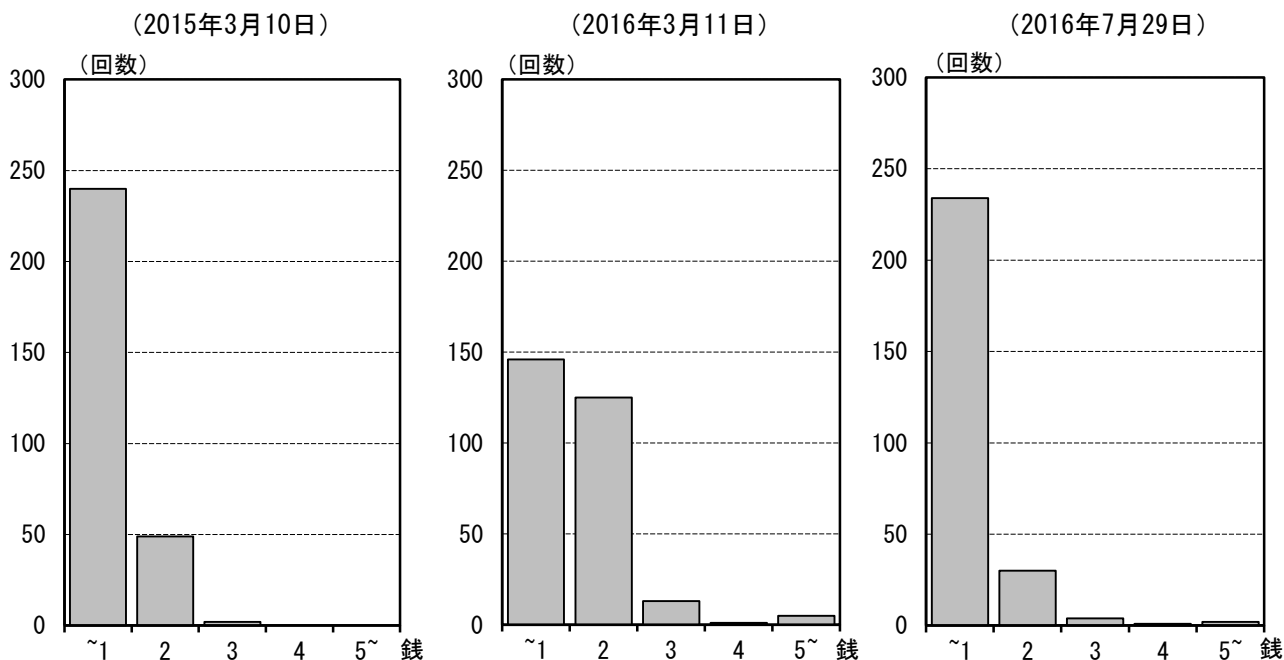
### 長期国債先物のビット・アスク・スプレッド (tightness)

#### (1) ビッド・アスク・スプレッド (1分足データの日中平均、下位10%平均)



- (注) 1. 後方10日移動平均。直近は2月末。
- 2. ビッド・アスク・スプレッドは、1分毎のスプレッドから算出。下位10%平均は、各営業日 (1分足) について、スプレッドが大きい方から10%分のデータを抽出し、平均したもの。

#### (2) ビッド・アスク・スプレッドの出現頻度分布 (1分足データ)



- (注) 左から順に、14年度、15年度、16年度中にビット・アスク・スプレッド (下位10%平均) が最も拡大した日。
- (資料) 日本経済新聞社「NEEDS」

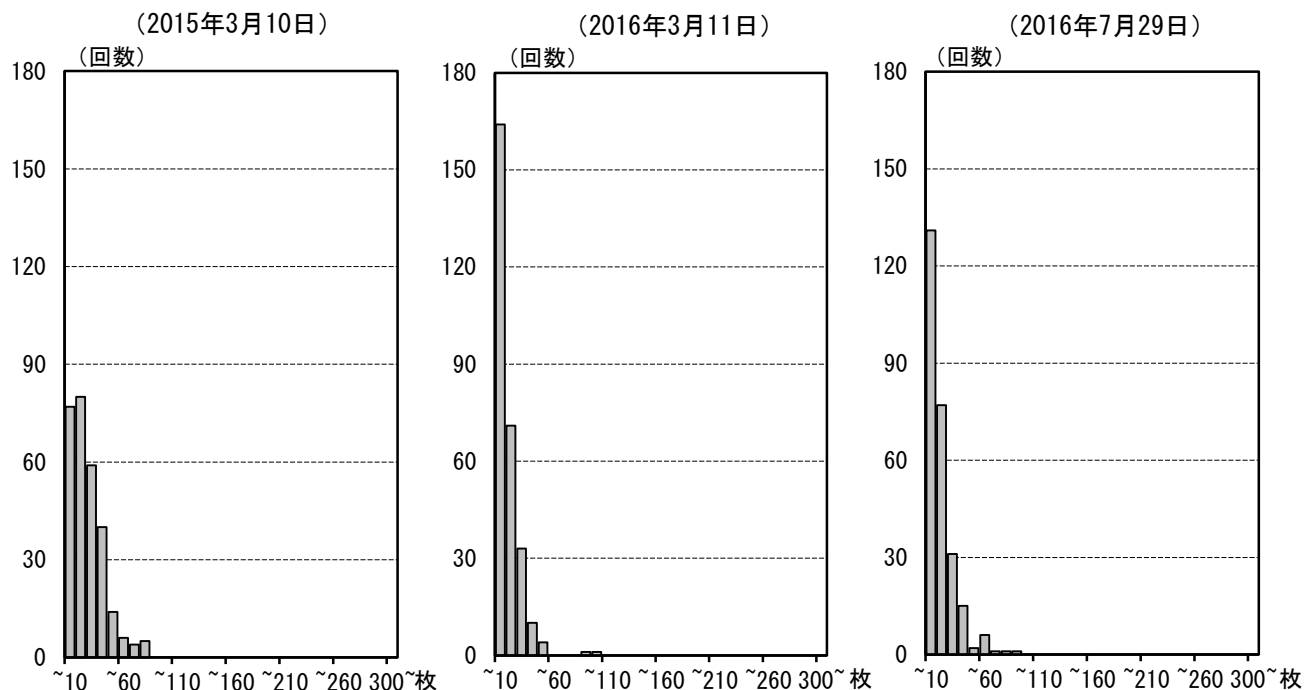
### 長期国債先物の板の厚み (depth)

#### (1) 長国先物の板の厚み (ベスト・アスク枚数)



(注) 1. 後方10日移動平均。直近は2月末。  
2. 各営業日において1分毎にベスト・アスク枚数を計測し、その中央値をプロットしたもの。

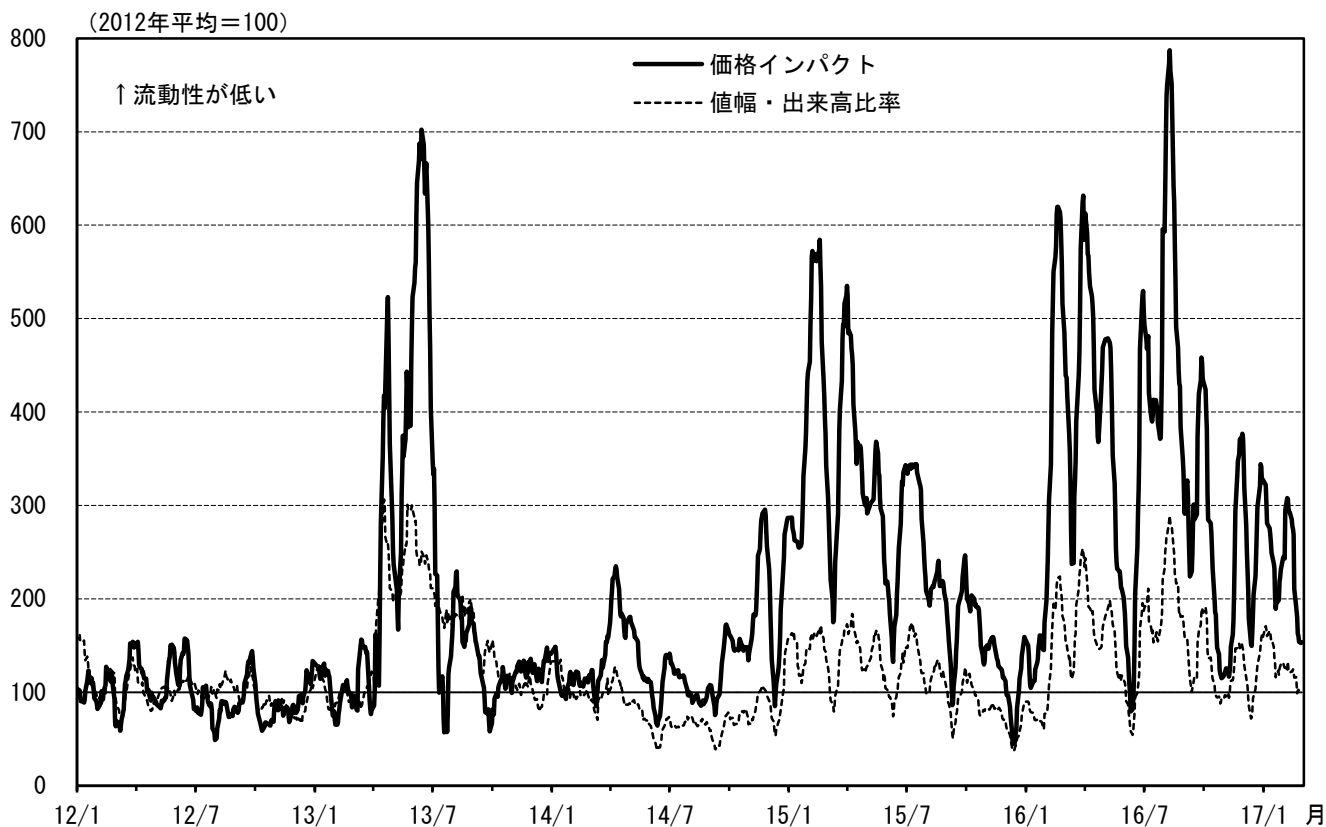
#### (2) ベスト・アスク枚数の出現頻度分布



(注) 1. 各営業日において1分毎にベスト・アスク枚数を計測し、その出現回数を足し上げたもの。  
2. 左から順に、14年度、15年度、16年度中にベスト・アスク枚数(中央値)が最も少なかった日。

(資料) 日本経済新聞社「NEEDS」

### 長期国債先物の価格インパクト (resiliency)

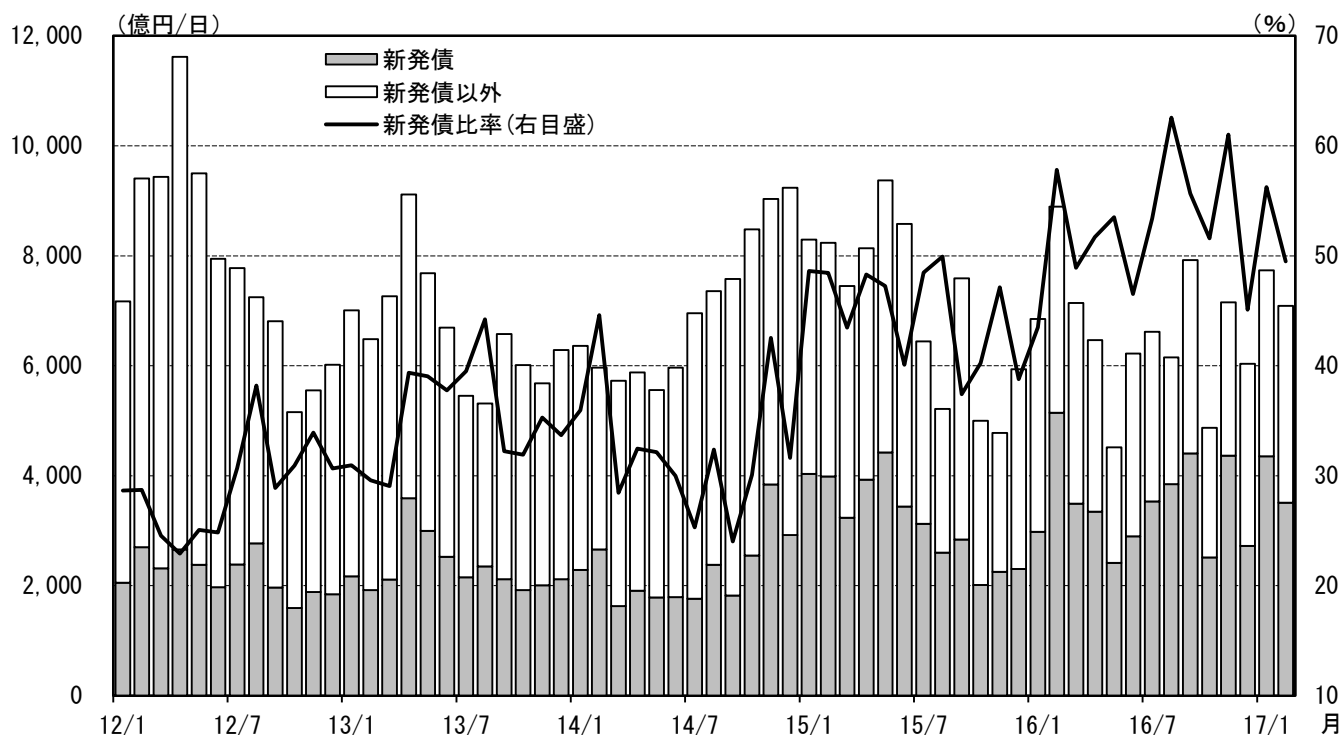


(注) 価格インパクトは各営業日の平均。後方10日移動平均。直近は2月末。

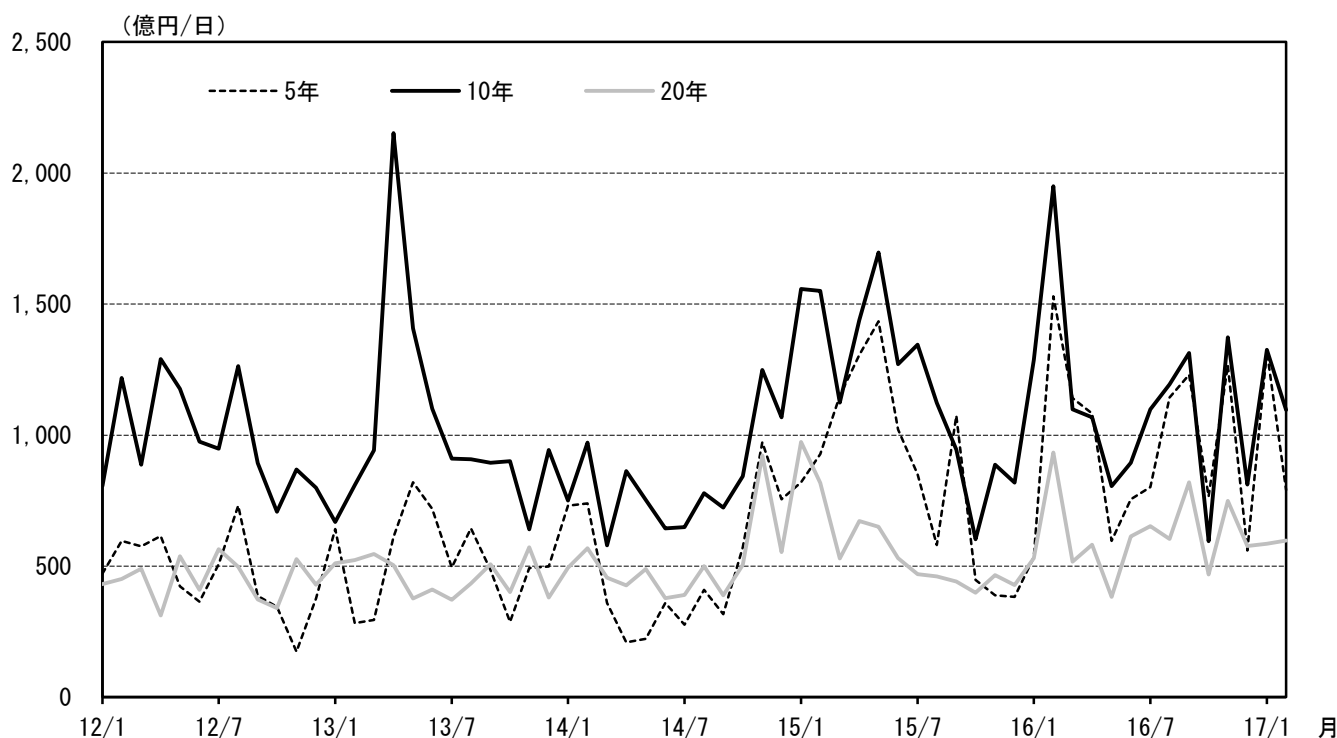
(資料) 日本経済新聞社「NEEDS」、QUICK、大阪取引所

### 現物国債のディーラー間取引高 (volume)

#### (1) デイリー間の国債取引高 (日本相互証券)



#### (2) 年限別にみたディーラー間の新発債取引高 (日本相互証券)



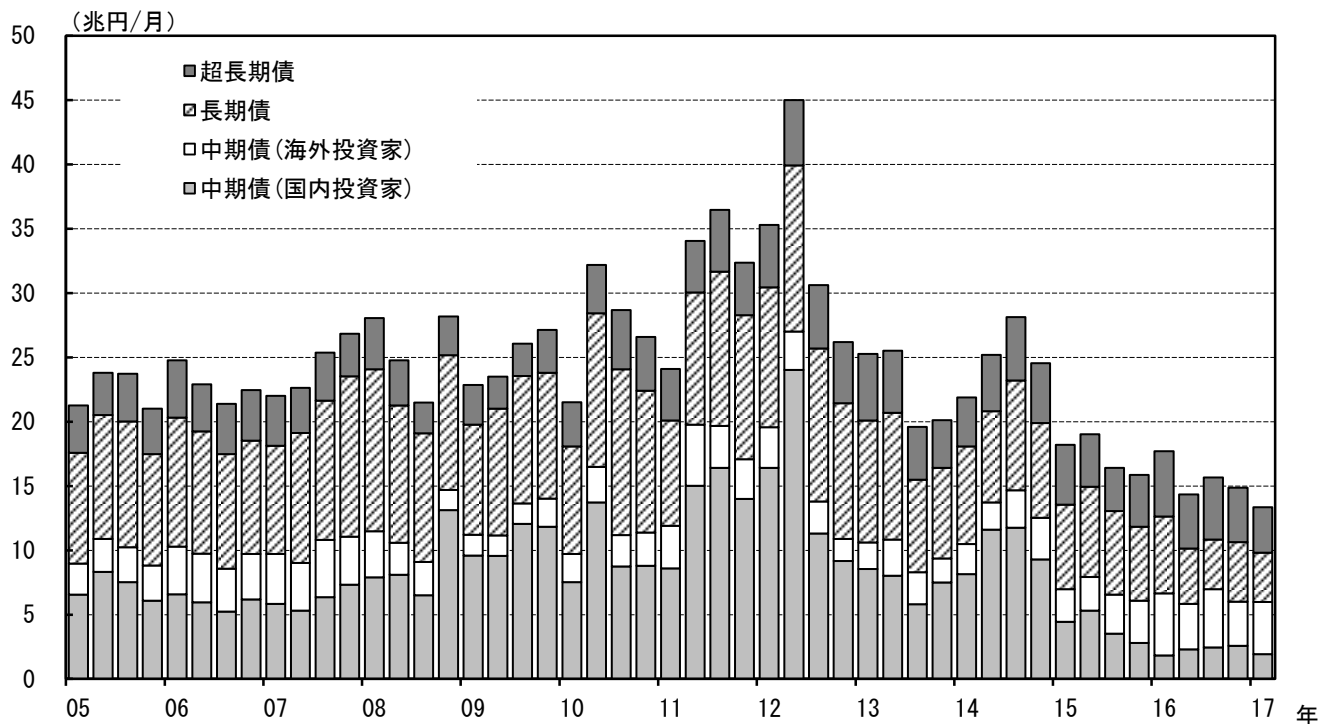
(注) 1. 直近は2月。

2. (1)は、2、5、10、20、30、40年債の1日当たり取引高 (日本相互証券)。

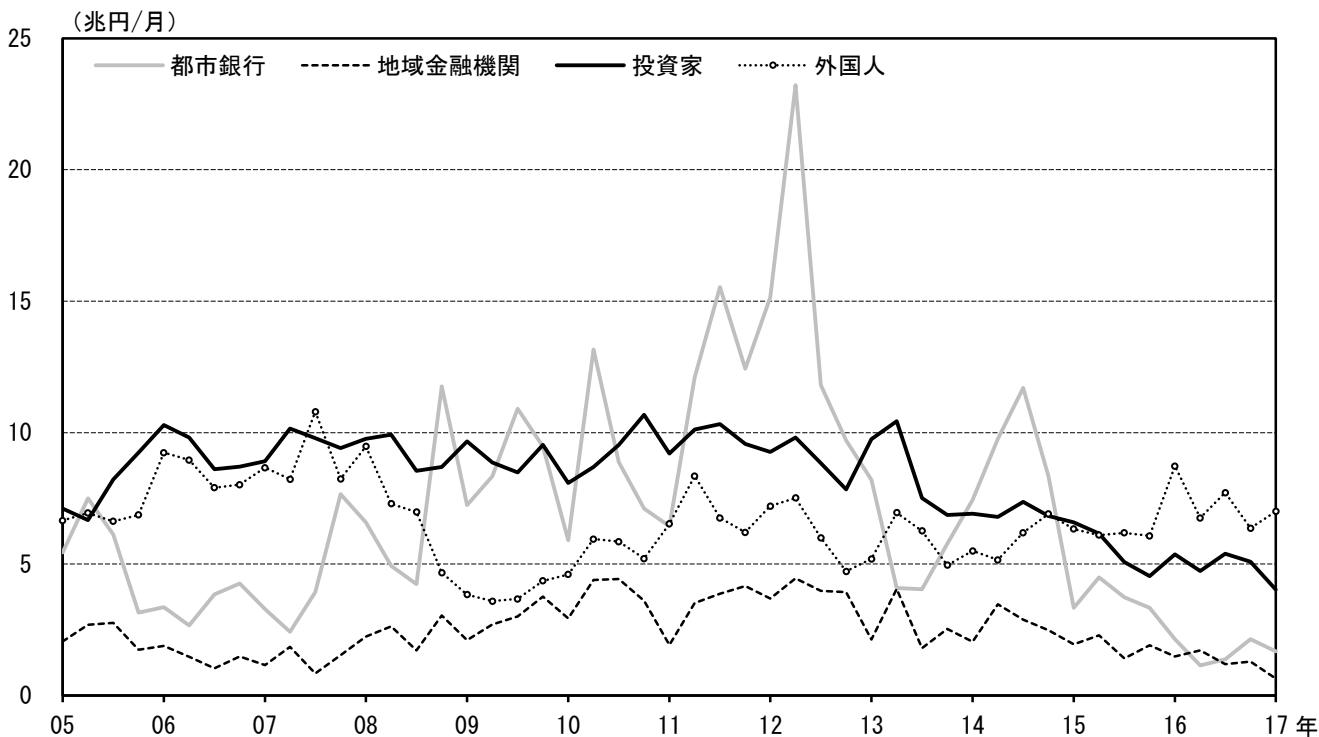
(資料) QUICK

### 現物国債の投資家等の売買動向 (volume)

#### (1) ディーラーの対顧客取引高 (顧客の国債グロス買入れ額)



#### (2) 対顧客取引の内訳 (顧客の国債グロス買入れ額)

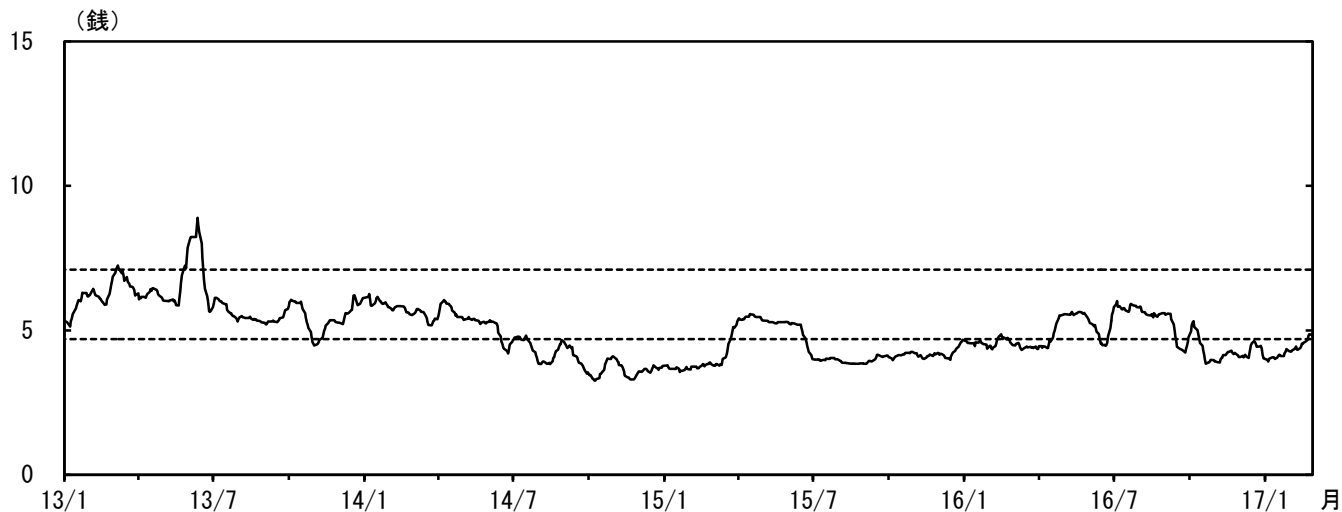


(注) 1. 取引高は国庫短期証券等を除く。直近は1月。  
2. 顧客は、都市銀行、地域金融機関、投資家（生保・損保、信託銀行、農林系金融機関、投資信託、官公庁共済組合）、外国人の合計であり、その他の主体（政府、日本銀行、ゆうちょ銀行、かんぽ生命、事業法人、その他金融機関等）を含まない。

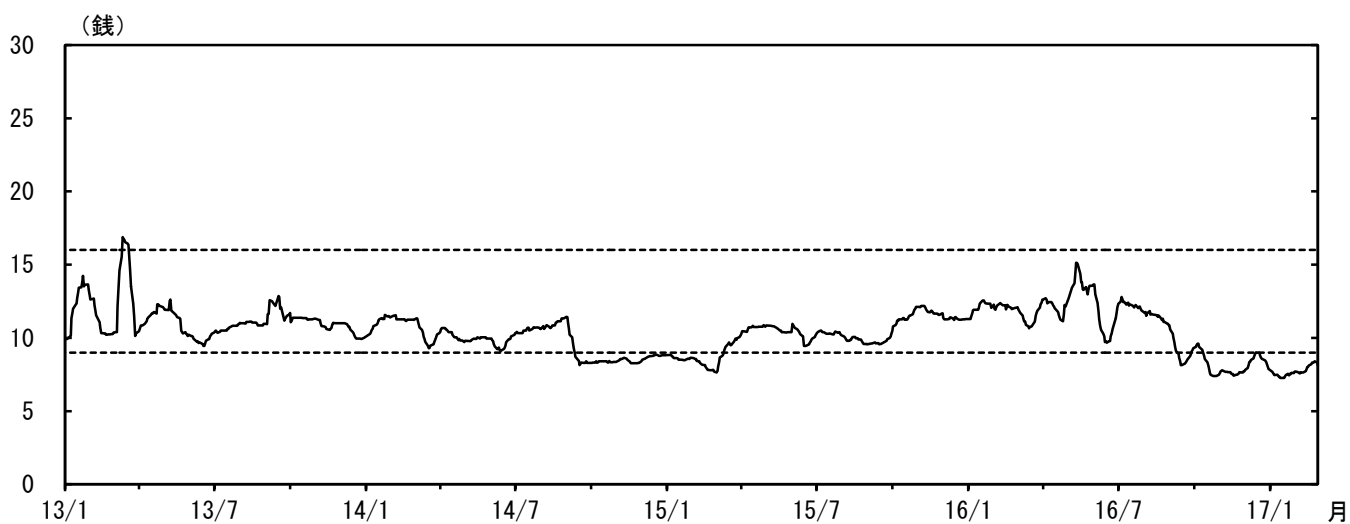
(資料) 日本証券業協会

### 現物国債のビッド・アスク・スプレッド (tightness)

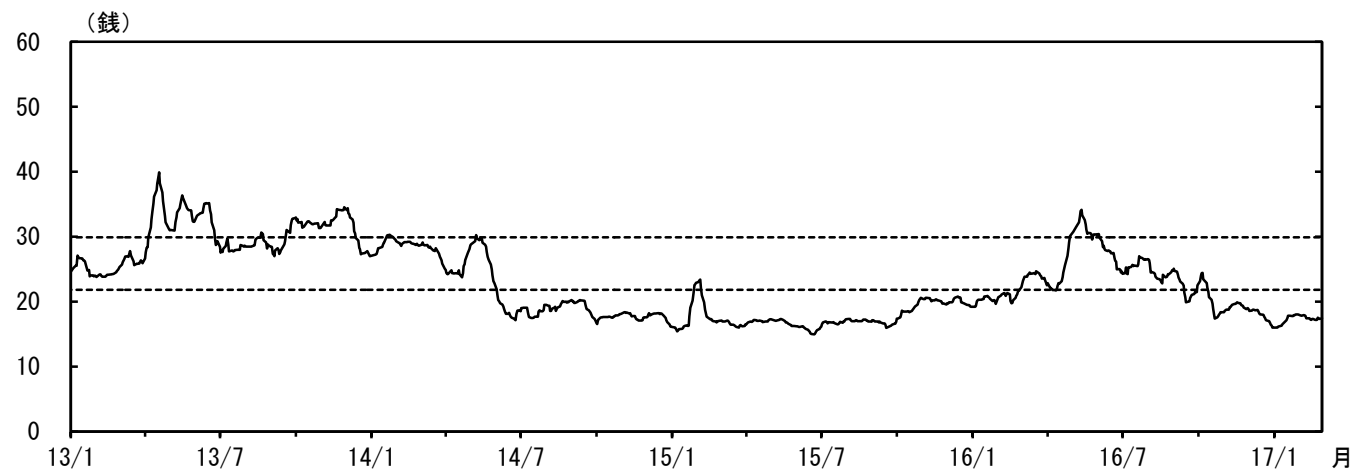
(1) 5年



(2) 10年



(3) 20年



(注) Trade web気配値 (15時時点) の後方10日移動平均。点線は、2010/1~2013/3月における第1四分位と第3四分位を示す。直近は2月末。

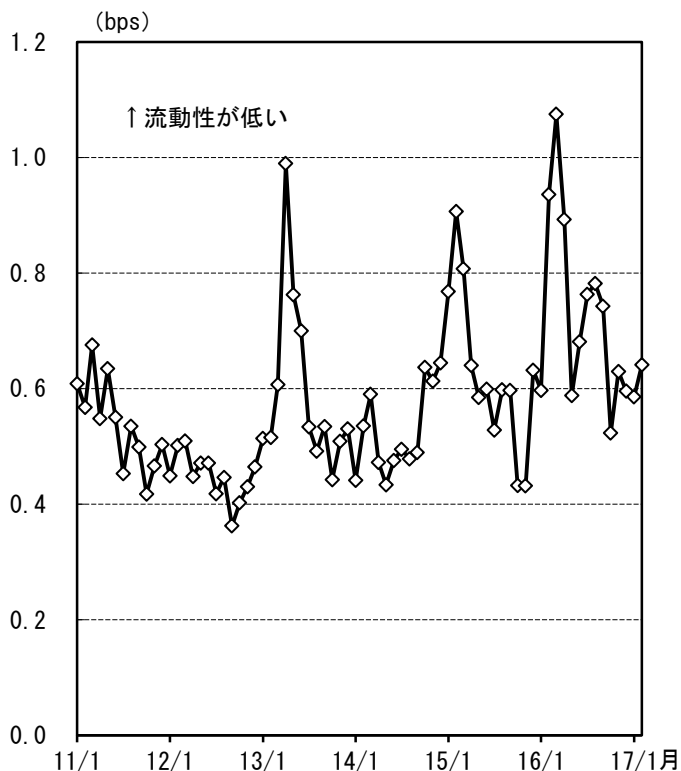
(資料) トムソン・ロイター



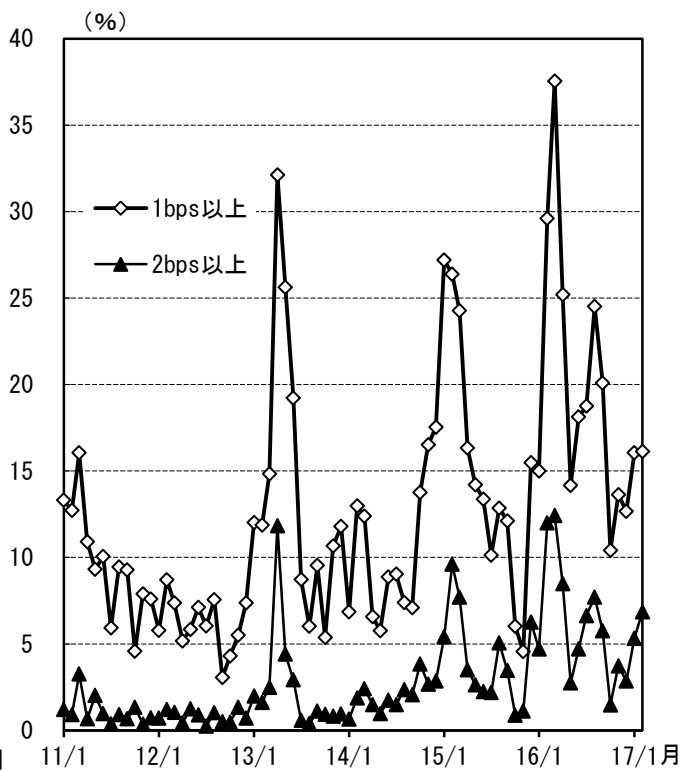
(図表8)

### 現物国債・対顧客取引の提示レート間スプレッド (depth)

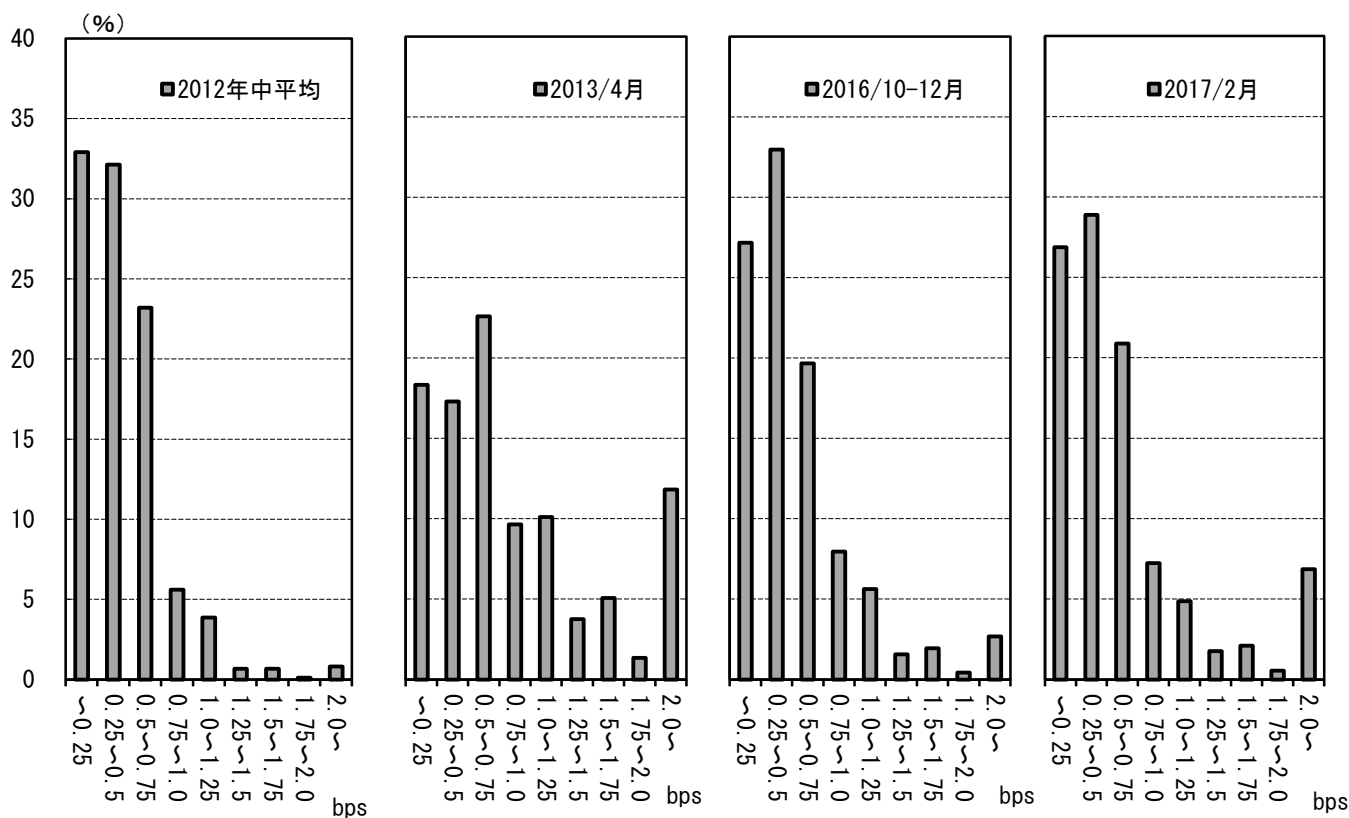
(1) 提示レート間スプレッド (平均)



(2) 同スプレッドが1、2bps超となる確率



(3) ヒストグラム

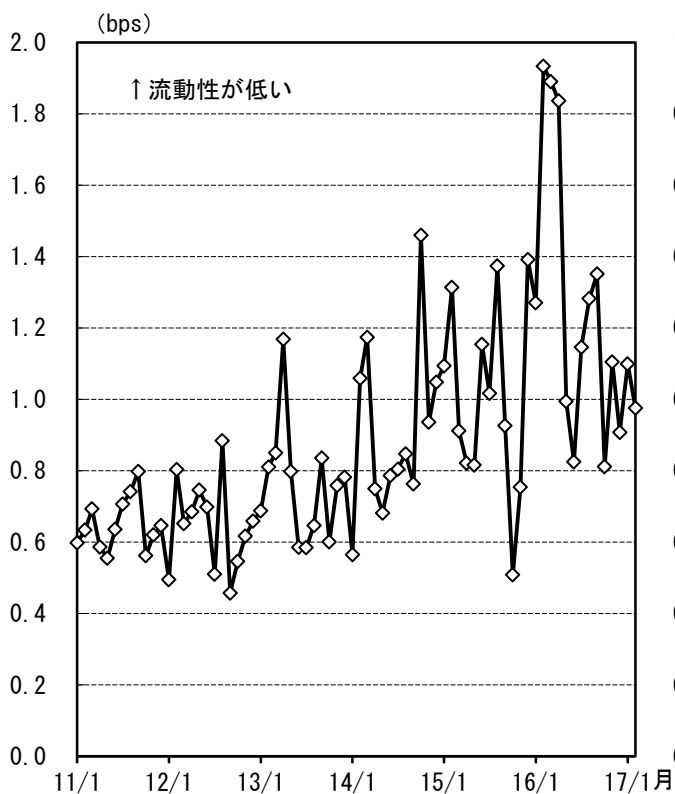


(注) スプレッドが10bpsを超える一部の取引を除外して集計。(1)、(2)の直近は2月。

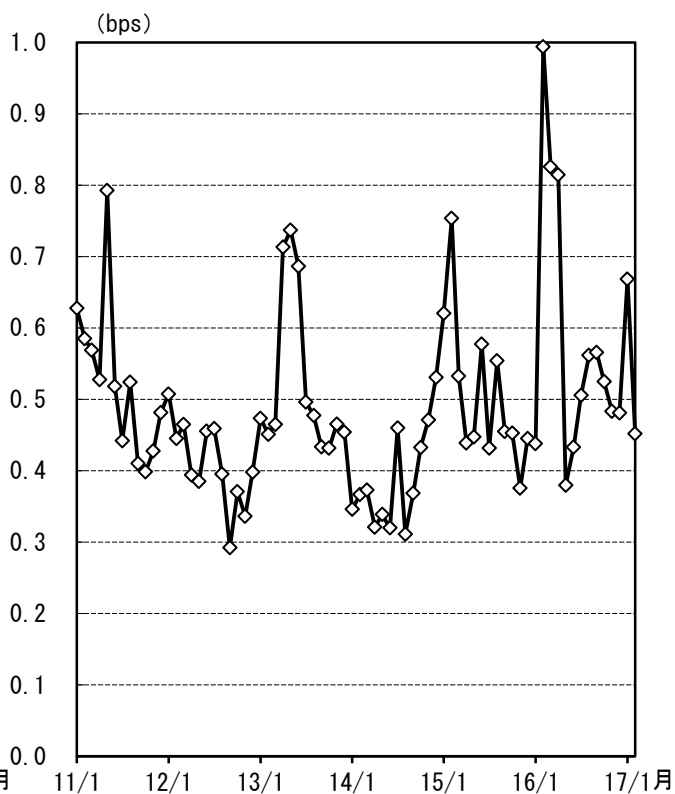
(資料) エンサイドドットコム証券

### 残存年限別の提示レート間スプレッド (depth)

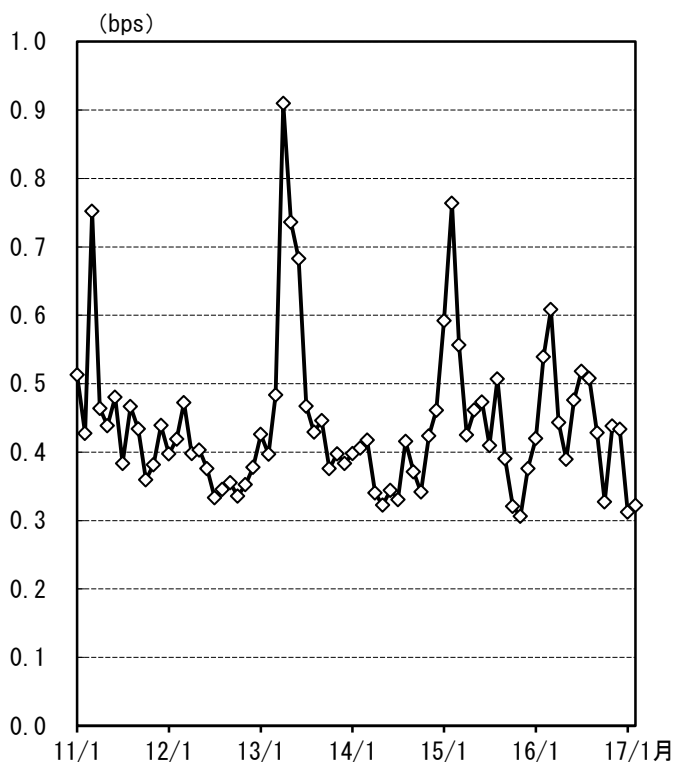
(1) 短期ゾーン (2年以下)



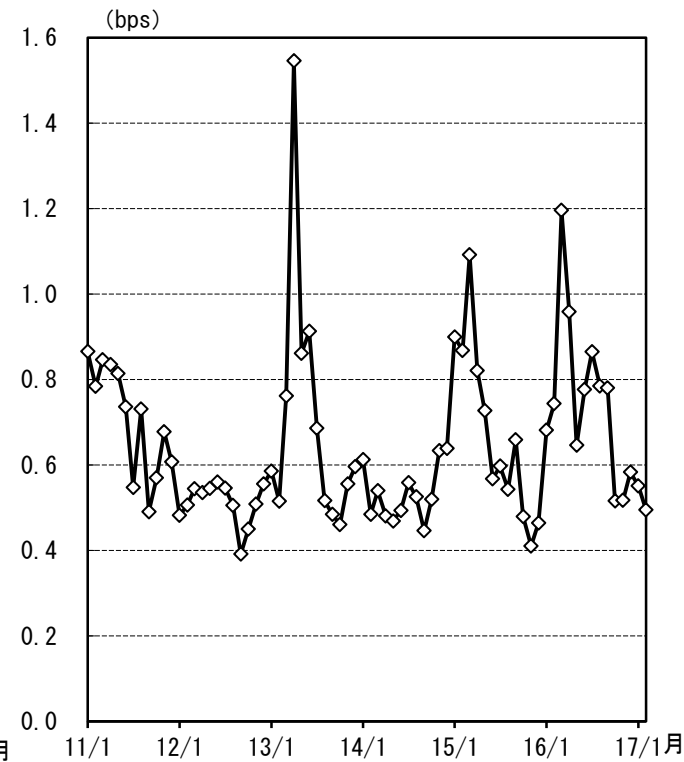
(2) 中期ゾーン (2~5年)



(3) 長期ゾーン (5~10年)



(4) 超長期ゾーン (10年超)

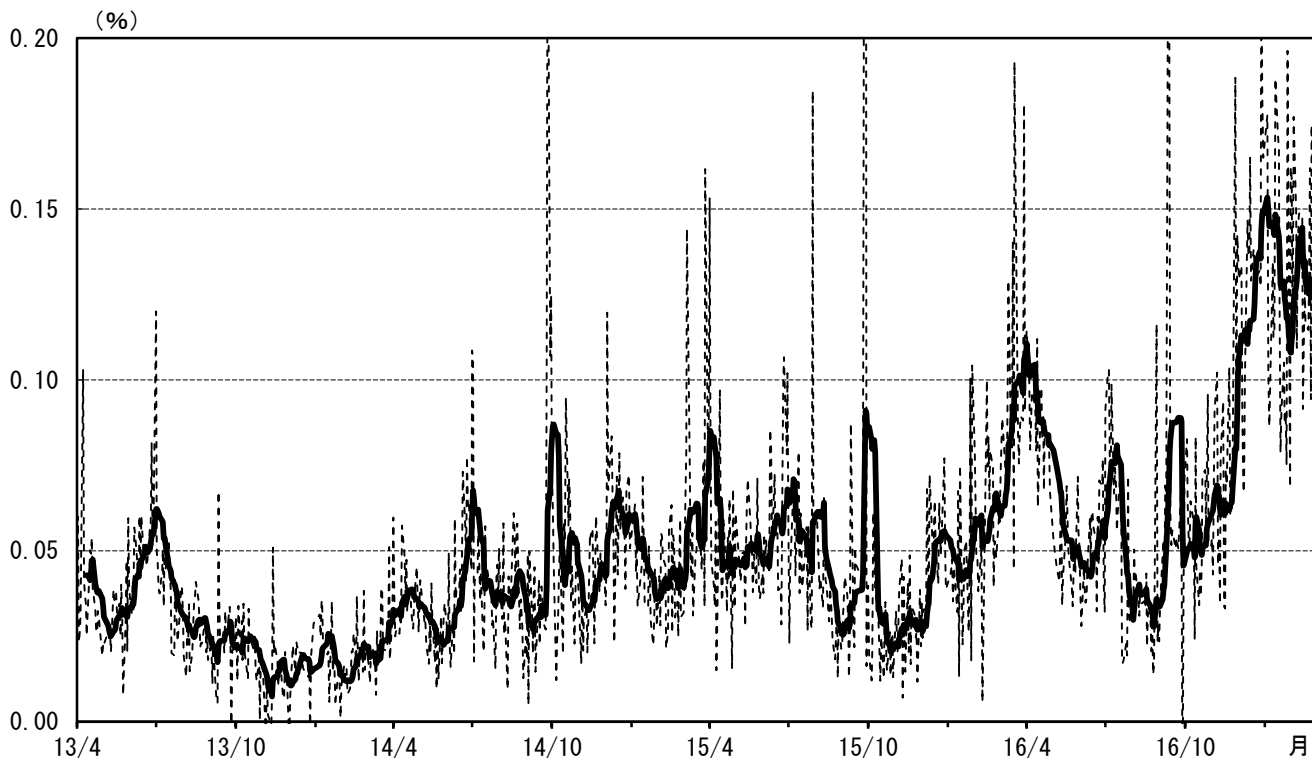


(注) スプレッドが10bpsを超える一部の取引を除外して集計。直近は2月。

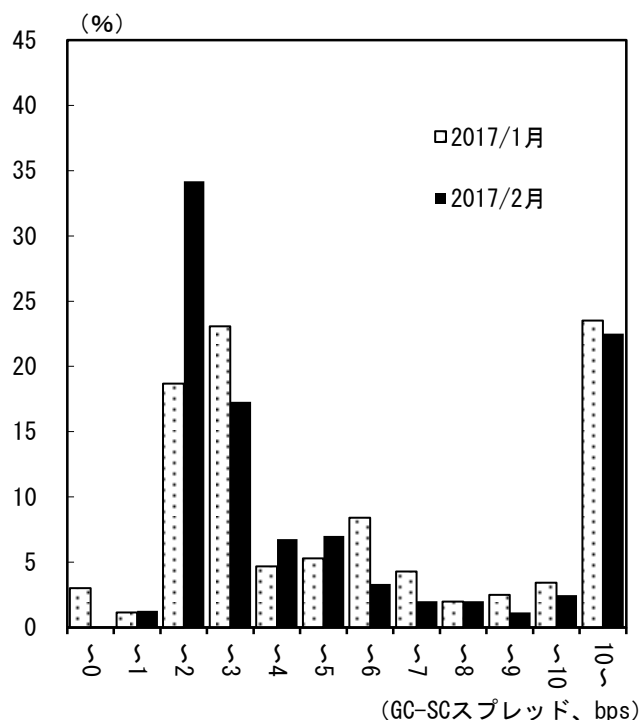
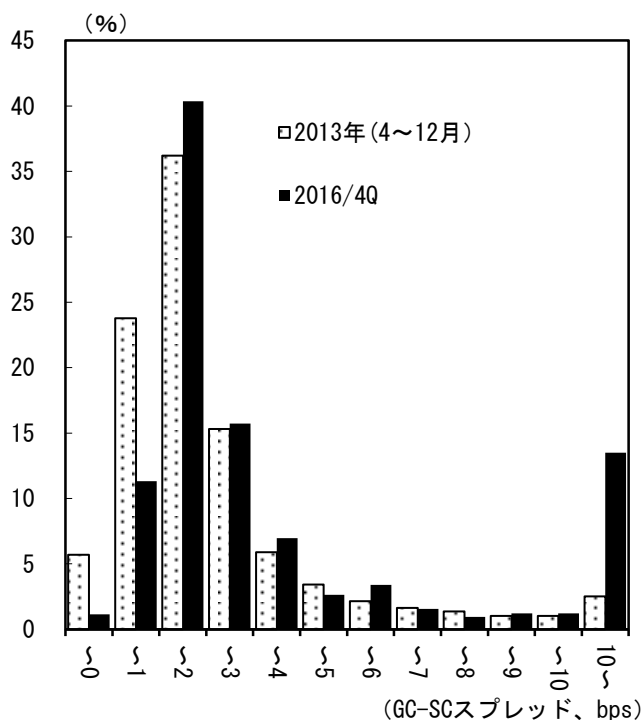
(資料) エンサイドドットコム証券

## GC-SCスプレッド

(1) GC-SCスプレッドの推移 (出来高加重平均)



(2) GC-SCスプレッドのヒストグラム

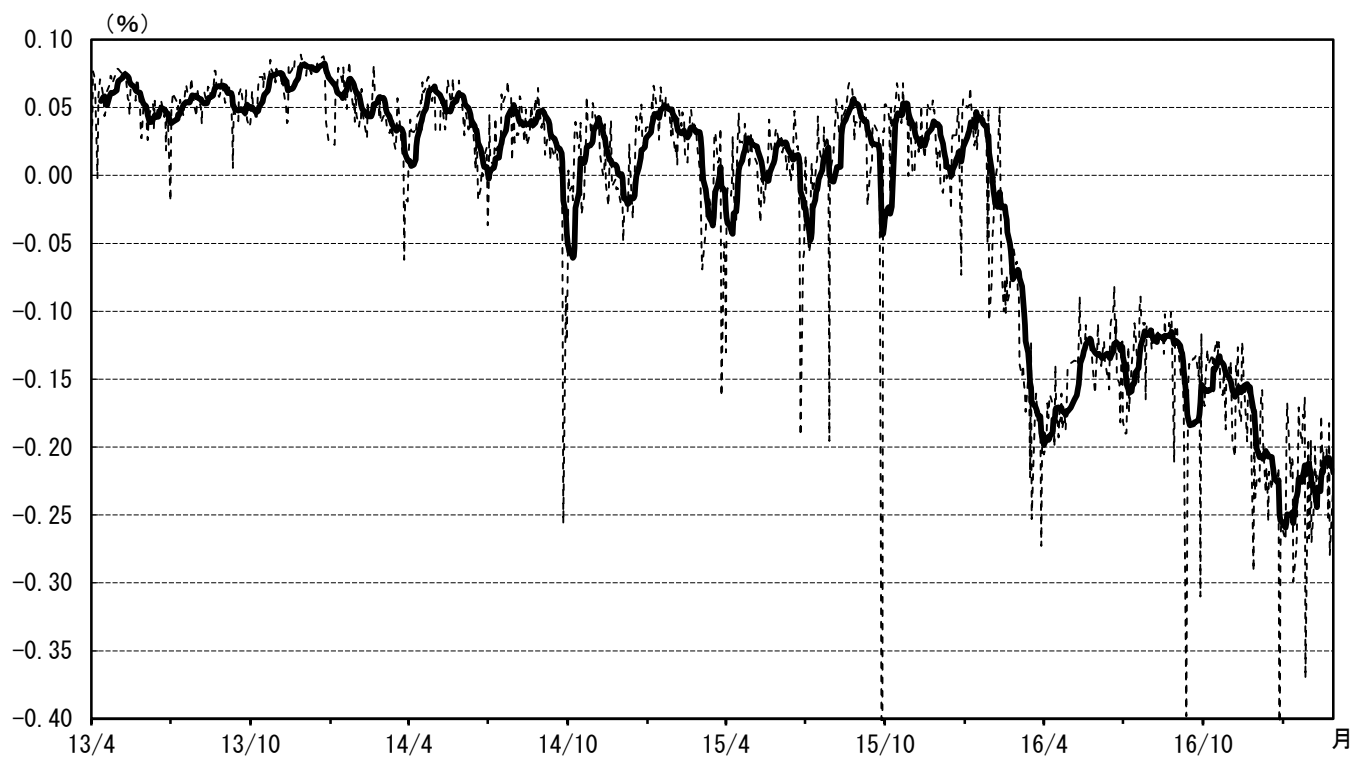


(注) 1. (1) の太線は後方10営業日移動平均。直近は2月末。

2. SCレポレートはS/N。GCレポレートは、東京レポレート (T/N)。GC-SCスプレッドは、決済日を合わせる形で算出。

(資料) ジェイ・ボンド東短証券、日本証券業協会

### SCレポレート (S/N)



(注) 銘柄別のSCレポ出来高による加重平均値。直近は2月末。太線は後方10営業日移動平均。

(資料) ジェイ・ボンド東短証券